

多重入力の解消やAIカメラによる見守りの高度化を目指し、現場入力環境の最適化を検証。データに基づく科学的な介護を実践し、ケアの質向上と経営基盤強化を両立する計画を策定。

社会福祉法人慈光会				https://fukujikoukai.jp/	
本社所在地	大田市温泉津町上村461	資本金	-	事業概要	広域特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、デイサービス、居宅支援事業の運営
代表者名	福田 一司	従業員数	53名		
設立年	1987年	業種	老人福祉・介護事業		

背景

- 福祉業界全体の人材不足と職員の高齢化に直面し、限られた人員で増大する地域ニーズへの対応が喫緊の課題となっている。
- 紙への記録後にPCへ転記する「二重入力」が常態化し、記録業務への多大な工数負担と転記ミスリスクを抱えている。
- 情報共有が口頭やノートに依存しており、データに基づく科学的な改善サイクルが確立されていない。
- 「科学的介護情報システム（LIFE）」へのデータ連携など、エビデンスに基づいた質の高いサービス提供への転換が求められている。

計画の骨子

現場入力の最適化と即時化

- ▶ モバイル端末による現場入力を定着させ、記録の二重入力を徹底的に排除することとした。
- ▶ 記録業務の効率化とLIFEへのスムーズなデータ連携基盤を確立し、科学的介護の推進体制を整備する計画を策定した。

AIカメラによる見守り高度化

- ▶ AIカメラによる異常検知を活用した通知型の見守り体制を確立し、夜間の巡回業務を再構築することとした。
- ▶ 職員の精神的・身体的負担を軽減するとともに、削減した時間を利用者への直接ケアへ充てる方針を策定した。